

★ 特集 会津医療センター(仮称)について

平成25年2月の開所へ向け、今年度から会津医療センター(仮称)の建設が始まります。教育・研究機能を備えた大学附属病院として整備することにより、地域に根ざした医療や疾病に関する教育・研究を行い、地域医療の向上に貢献することを目指します。

医療機能

- 政策医療の実施 結核・感染症医療、へき地医療支援などの政策医療を実施します。
- 地域連携 地域の医療機関との連携強化やネットワークの構築により、『地域完結型の医療』を目指します。
- 研修・教育 自治医科大学等と連携しながら、臨床研修病院として臨床研修医への研修を行うほか、大学附属病院として学生等の教育にも活用します。

病院概要

- 病床数:230床程度(一般:200床程度、集中治療:4床、結核:14床、感染症:8床)
- 診療科:23科(院内標榜の診療科を含む)

建築概要

- 建築面積:約9,400㎡、延床面積:約22,700㎡
- 構造:鉄筋コンクリート造(免震構造)6階建

施設外観



施設概要

- 外来患者さんの診察、検査、処置までを1階のフロアで完結できるようにします。
- 建物中央部に中庭(光の庭)を設け、病院全体に自然光・自然通風を取り入れ明るく開放的な空間とします。

			緩和ケア病棟 (25床)				※混合病棟 一般病床 15床 結核病床 14床 感染症病床 8床	
			一般病棟 (42床)	混合病棟※ (37床)				
			一般病棟 (42床)	一般病棟 (42床)				
			一般病棟 (33床)	教育・研究部門				
			レストラン・ 保育所	リハビリ	透析	ICU (4床)	手術	病理
			外来			救急	健診	薬剤
検査	内視鏡	画像診断						栄養
								管理諸室
								機械室

「会津医療センター準備室」医師のご紹介

- 県立医科大学に会津医療センター（仮称）の準備室が設置され、平成22年4月から3人の教授が着任いたしました。センター開設準備業務とともに、会津総合病院での診療に従事しています。



おおたまさつぐ
大田 雅嗣教授 専門：血液内科

会津に不足している血液内科を立ち上げるために着任されました。これまで自治医科大学、北海道大学、東京都健康長寿医療センターで先端の医療に従事されており、研究においても国内外で幅広く活躍されています。



いりさわあつし
入澤 篤志教授 専門：消化器内科

膵臓・胆道や食道、胃、十二指腸などの疾患を中心に医療に取り組まれています。特に内視鏡による低侵襲（体に負担をかけない）診断・治療に積極的に取り組まれており、研究においても国内外で幅広く活躍されています。



さいとうたくろう
齋藤 拓朗教授 専門：一般・消化器外科

特に肝臓・胆道・膵臓疾患を中心に医療に取り組まれています。県立医科大学では肝臓、膵臓移植等の先端の医療にも従事されており、研究においても国内外で幅広く活躍されています。

3人の教授の着任を含め、「会津総合病院」では会津医療センター（仮称）開設に向け、今後一層医師が充実し、診療体制が強化されます。

発行 病院局病院経営改革課

〒 960-8043 福島県福島市中町8番2号（自治会館4階）

TEL：024-521-7226 FAX：024-521-7924

e-mail：kenritsubyouin@pref.fukushima.jp